

作っていただくもの（参考例）

* cmは出来上り寸法です。

絵本袋



名前は11×3cm位の別布に大きく書いて表に縫い付ける

防災クッションが横向に入る大きさ。

うわばき袋



マチ約4cm

子どもは両足並べて入れるのでピッタリサイズだと入れずらいです。年長迄使えるサイズがおすすすめです。

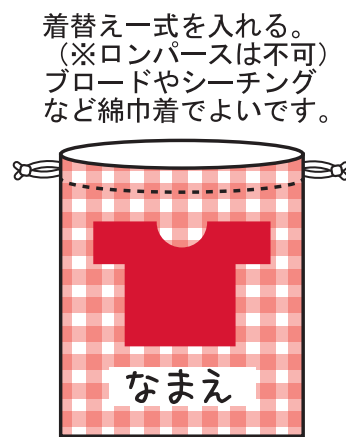
体操着袋 (9月から)



脱いだ物が入る大きさ。冬はセーターも入れます。キルティングなど厚手素材が良い。

※どちらも巾着袋でいいので子どもに分かりやすい区別を。

着がえ袋



着替え一式を入れる。(※ロンパースは不可) ブロードやシーチングなど綿巾着でよいです。

スモック (園指定)

クラスはかかず名前のみ。



刺繍やアププリケをつけると自分の物が分かりやすいです。

コップ袋

紐が固いと子供がコップを入られせん



毎日使います

お弁当袋 (給食袋)

ナフキンはランチョンマットとして使います。給食袋の中にたたんだナフキンと箸箱を入れて下さい。



お弁当の時も弁当箱を包まずたたんで入れて下さい。

うわばき (園指定)

名前を書いて下さい。目印をつけると分かりやすいです。



かかると縦になまえ

体操着 (園指定)

背中



布(ゼッケン)がついているので名前を書いてください

手拭きタオル

※毎日交換して洗って下さい。

ハンドタオルをボタンを芯にしウエストサイズに合わせ輪にしたゴムで止めます



こどものウエストサイズ

★必ずタオルに名前を入れてください

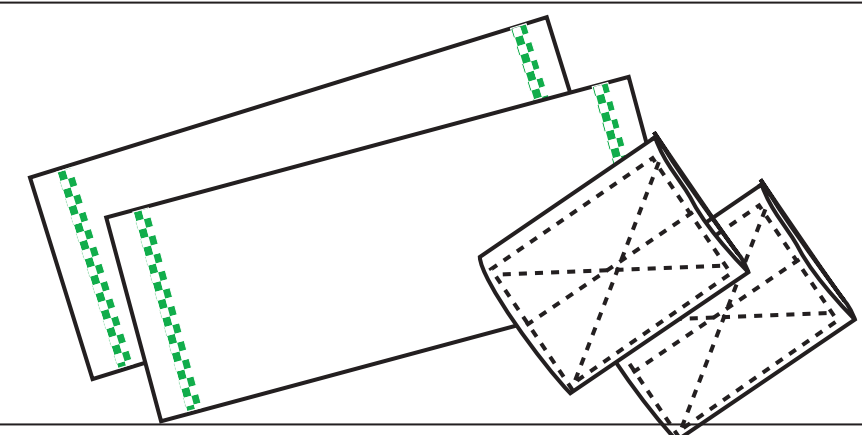


家からつけてくる

このようにウエストに通す。しゃがんだ時につかない程度で。

そうきん2枚 フェイスタオル2枚

市販の物でOK 無記名のもの

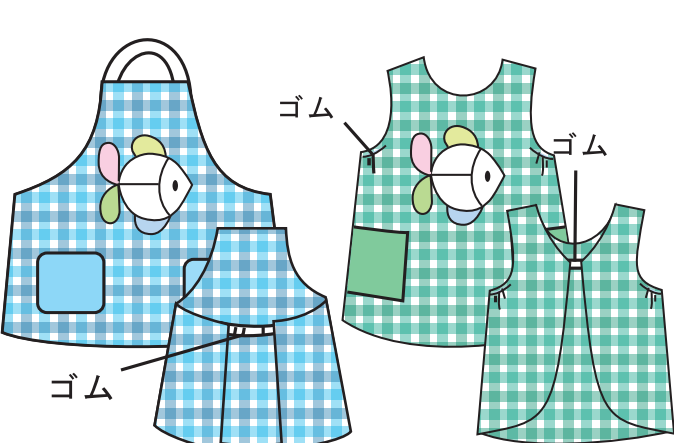


エプロン (5月)

※名前は表面の見える場所に全てひらがなで記入してください

既製のものでもよいですが、ひもは結べない為ゴムにするなど着やすいように工夫して下さい。縫製だけしていただける所もありますのでご相談下さい。

★5月の連休明けまでにご用意ください。HPに作り方が掲載されています



ゴム

ゴム

ゴム



※マジックテープははずれやすいです

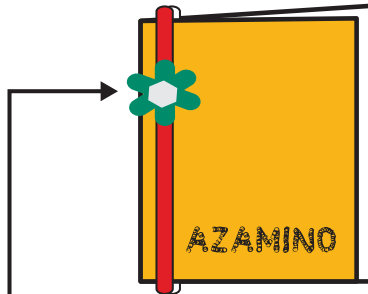


※丈は長すぎないように。

(長いと階段等で踏んでしまう)

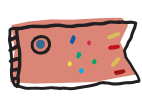
出席ノート用ゴム

ゴムは手紙も挟むので少しゆるめに。なまえをつける。



カラーゴムで作って下さい。自分のマークにしてあげると分かりやすいです。

エプロン参考例 (100~110)



あくまでも参考として
お子さんのサイズに合わせて
調整して下さい。

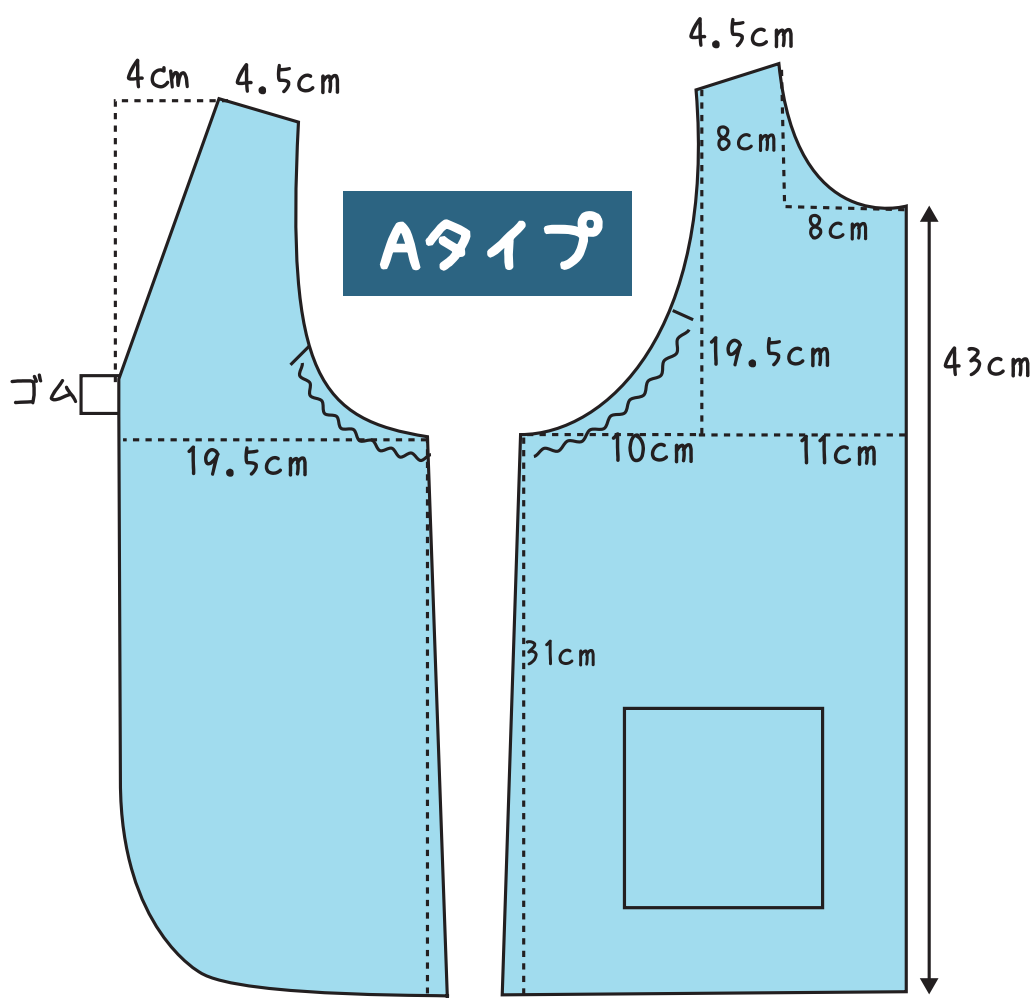
縫い代・・・1.5cm

裾は5cmぐらいにしておくとおおきくなったら伸ばせます。

型は自由です。既製品のエプロンでも、ひもをゴムに変えるなど工夫してくだされれば、かまいません。

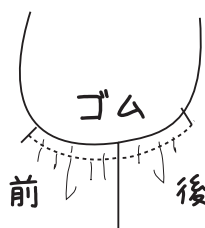
＊フリルやワッペン、レース等をつけても可愛いですが、

丈が長すぎるのは危ないのでスカート丈をお願いします。

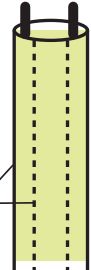


1 裁断する エプロン前見頃1枚
後見頃2枚
ポケット2枚
後ろ平ゴムベルト

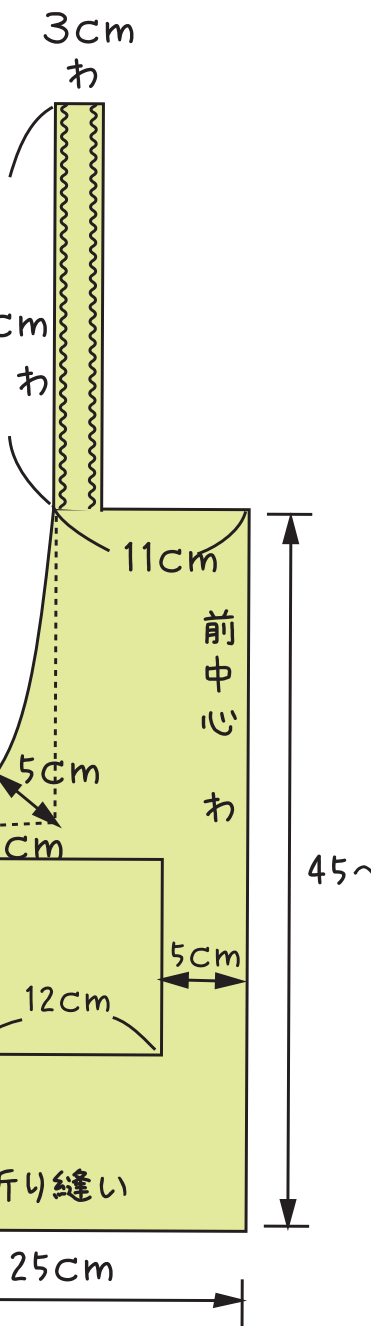
背中がゴム1本でつながっています。かぶって簡単に着れます。袖下はゴムをいれてあげると身体にフィットして着やすくなります。ためてみてね。



共布ゴムベルトの作り方



中表縫いして表に返す
ステッチ2本かけ
ゴムテープ両サイドに通す。
出来上がり寸法にカットする



1 裁断する エプロン身ごろ1枚
ポケット2枚
後ろゴムベルト布
肩ゴムベルト布
身返し

2 ポケットを作って縫い付ける
3 肩と後ろの共布ゴムベルトを作る
(市販の幅広ゴムテープを直接使用してしてもよい)
4 ギュムベルトをそれぞれ縫い合わせ、身返しに挟み込む。後ろゴムベルトはゴムを通し20cmぐらいに縮める。
肩ゴムベルトはゴムを通し30cmぐらいに縮める。



バックスタイル